

令和5年度 古代鏡展示館 夏季スポット展示

謎の紋様 さん じ もん きょう 山字紋鏡

令和5年7月20日（木）

～ 9月10日（日）

何に見える？



五山字紋鏡（図録No.59）

中国の戦国時代（紀元前5～3世紀）、青銅礼器を用いた祭祀儀礼が衰退する一方で、銅鏡は日用品として需要が高まります。その中に私たちが知る漢字の「山」の字のような形の主紋様を表わす「山字紋鏡」があります。

本展では、当館所蔵の山字紋鏡の中から「五山字紋鏡」を展示し、紋様の意味などを紹介します。

兵庫県立考古博物館 加西分館
古代鏡展示館
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

〒679-0106 兵庫県加西市豊倉町飯森 1282-1
（兵庫県立フラワーセンター内）

TEL 0790-47-2212 / FAX 0790-47-2213

H P <https://www.hyogo-koukohaku.jp/kodaikyou/>

山字紋鏡とは

地紋の上に「山」字のような主紋様を表わした銅鏡です。

種類 表わされる山字紋の数は3個～6個の4種があります。四山字紋が最も数が多く五山字紋がそれに次ぎます。三山字紋、六山字紋は少数です。

分布 中国各地で出土しますが、特に湖南省からの出土が多く、当時そこに所在した楚国の領域を中心に広く流通していたと推定されます。

時代 戦国時代前期(紀元前4世紀後半頃)に出現するとされますが、盛行するのは戦国時代中期以降(紀元前3世紀頃)です。五山字紋鏡はこの時期に出現します。

展示作品のポイント

山字紋

鏡の主紋。

五山字紋鏡は5個配置されています。左方向に傾き、「山」の中央の縦帯は鏡の外縁部に接します。

えんけいちゆうざ

円形鈕座

鈕を飾る台座は2重の円で表わされます。山字紋の隙間方向に5個の小葉紋が つきます。



しょうようもん
小葉紋



山字紋と外縁部の接点



山字紋の間を結ぶブリッジ

山字紋の意味は？

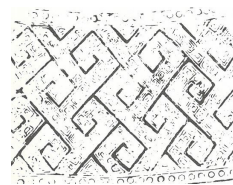
そもそも文字の「山」？

漢字としての「山」が現れるのは秦漢時代(紀元前2世紀以降)。この銅鏡が制作された戦国時代はまだ漢字が成立していません。山字紋は「山」字のような形の紋様という意味です。

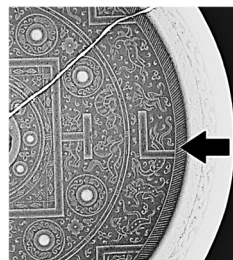
どんな意味があるの？

「山」字形の紋様の意味について、いろいろな解釈がされています。

- 山は不動を意味し、縁起の良い紋様として山岳を象った。
- 青銅礼器にみられたこうれんらいもん 鈎連雷紋(かぎ形の渦巻きを連続させた紋様)が変化した。
- 山字紋が外縁部に接するのは、漢時代の方格規矩紋のうち、L字状の紋様と共通するので、丸い鏡の形を天にみたと、天から下がるカギのような構造物を表わす。



鈎連雷紋※1



方格規矩紋

結論は出ていませんが、いずれにしても何かの特別な意味を持つ紋様であることは間違いないようです。

さて、あなたの見立ては・・・